

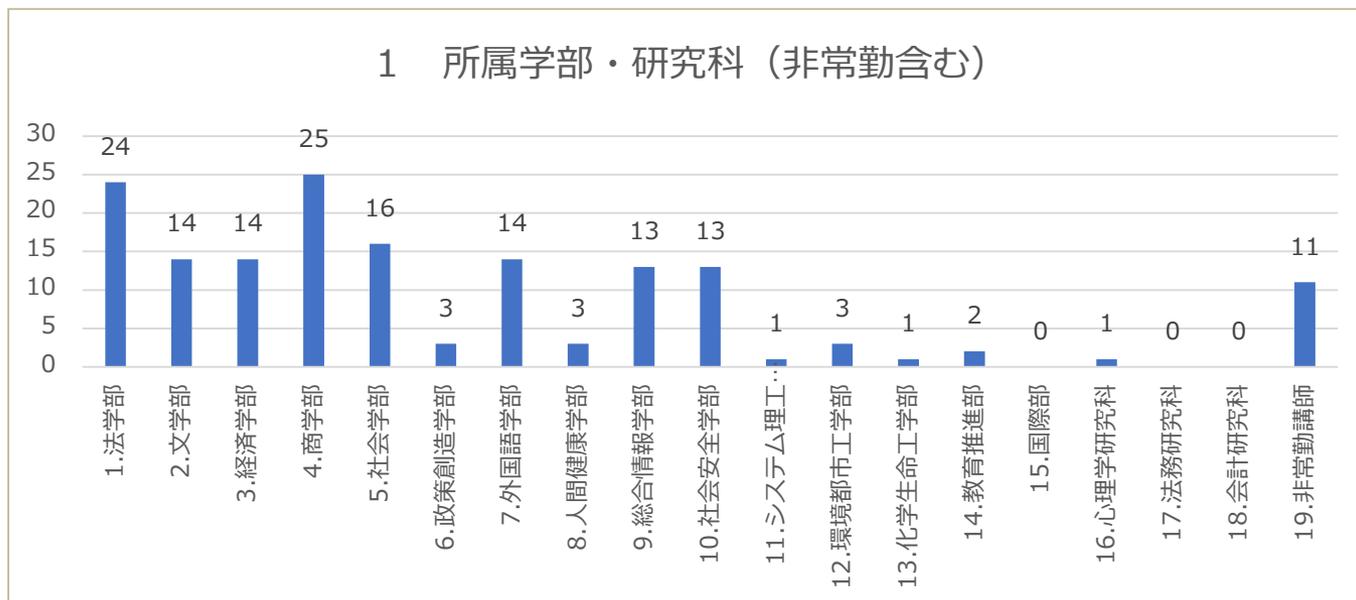
2022年度春学期の遠隔授業に関する
教員向けアンケート
(ダイジェスト版)

教学IRプロジェクト

2022年11月



- 1 調査期間 : 2022年9月21日(水)～10月16日(日)
- 2 調査対象 : 専任教員および非常勤講師のうち、
2022年度に遠隔授業を担当した者
334人(専任:205人、非常勤129人)
- 3 調査方法 : インターネットを活用したアンケート調査(無記名)
- 4 有効回答 : 159件
- 5 回答率 : 47.6%(専任教員回答率71.7%、非常勤講師回答率8.53%)
- 6 回答属性 :



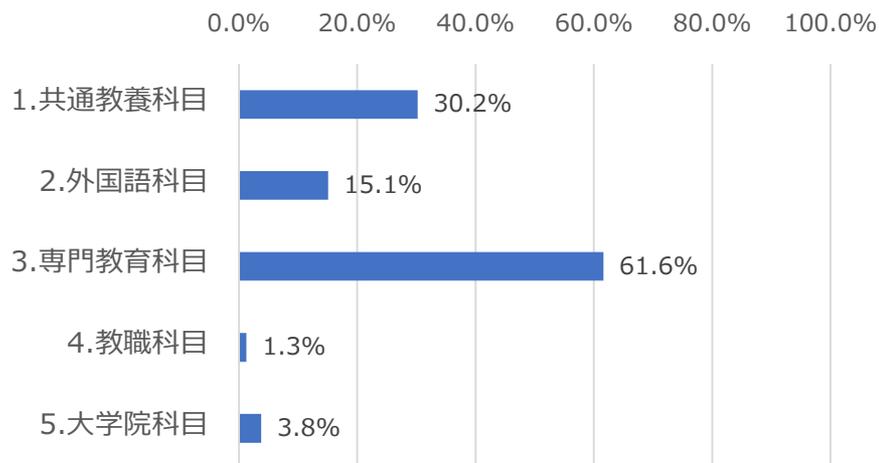
I 担当者の科目属性や授業種別など



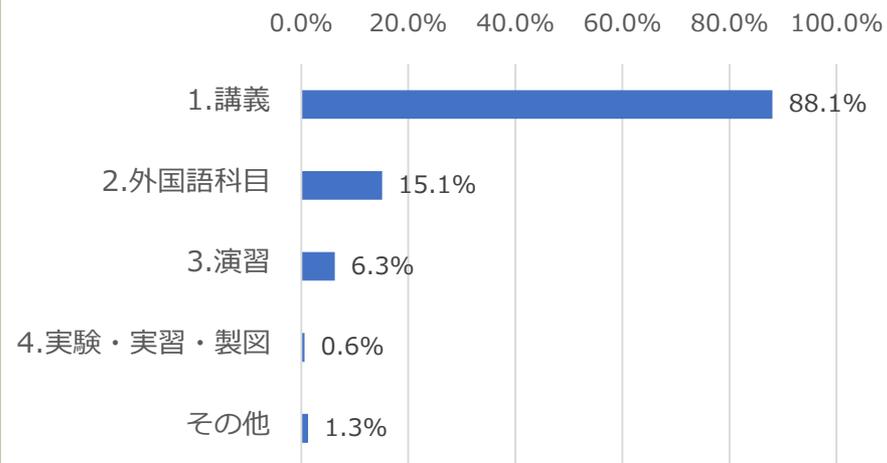
I 担当者の科目属性や授業種別など

※いずれも複数選択

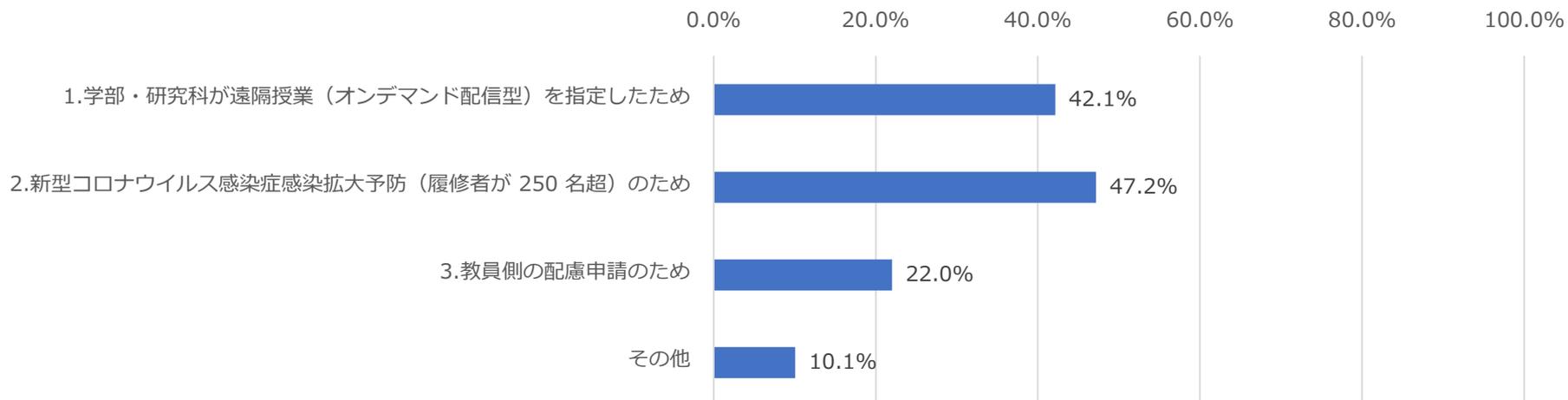
Q2 担当された遠隔授業の授業分類



Q3 担当された遠隔授業の授業種別



Q4 遠隔授業を実施した理由（経緯）



Ⅱ 2022春学期の遠隔授業について

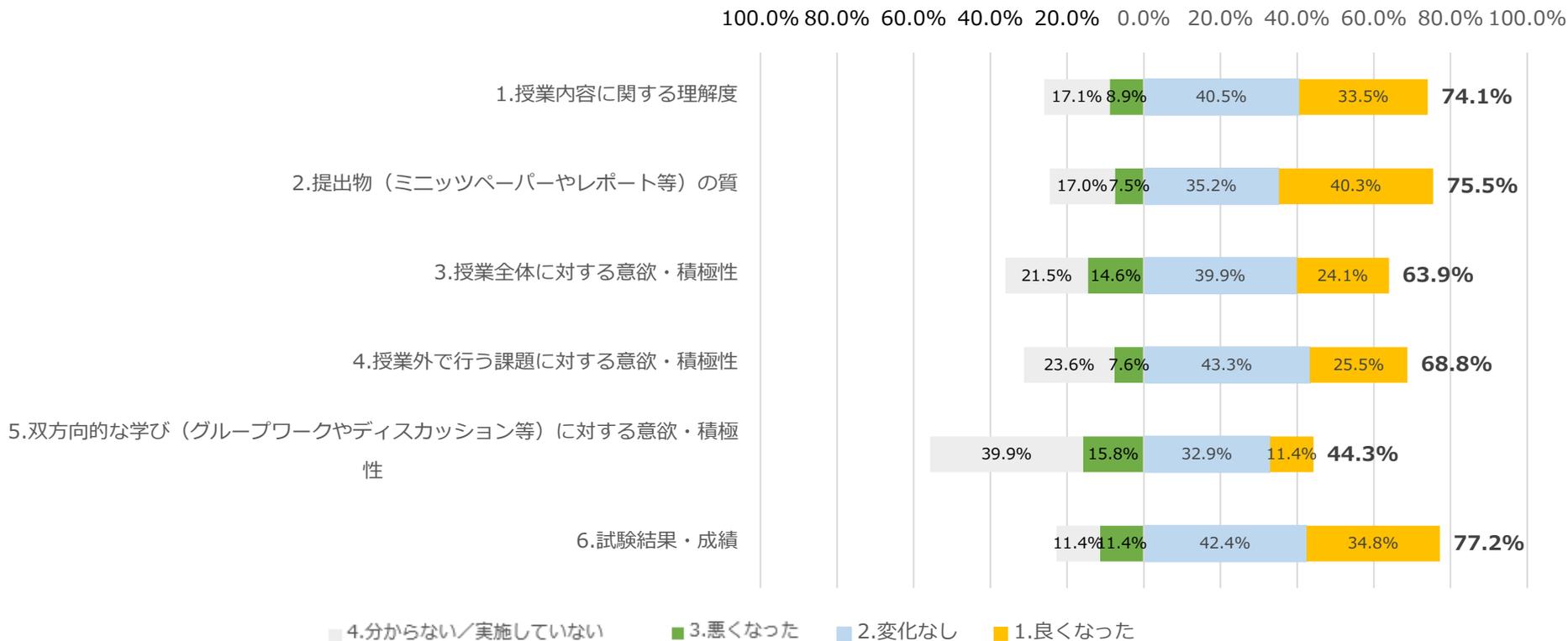


コロナ禍以前の対面授業と比べた活動の変化

- 「5.双方向的な学びに対する意欲・積極性」を除き、いずれの項目においてコロナ禍以前の「変化なし」「良くなった」の割合は6割超となった

Q5 コロナ禍で実施している遠隔授業（オンデマンド配信型）は、コロナ禍以前に実施していた対面授業（同一科目）と比べて、どのように変化したとお感じですか。以下の項目それぞれについてお答えください。

コロナ禍以前の対面授業と比べた活動の変化



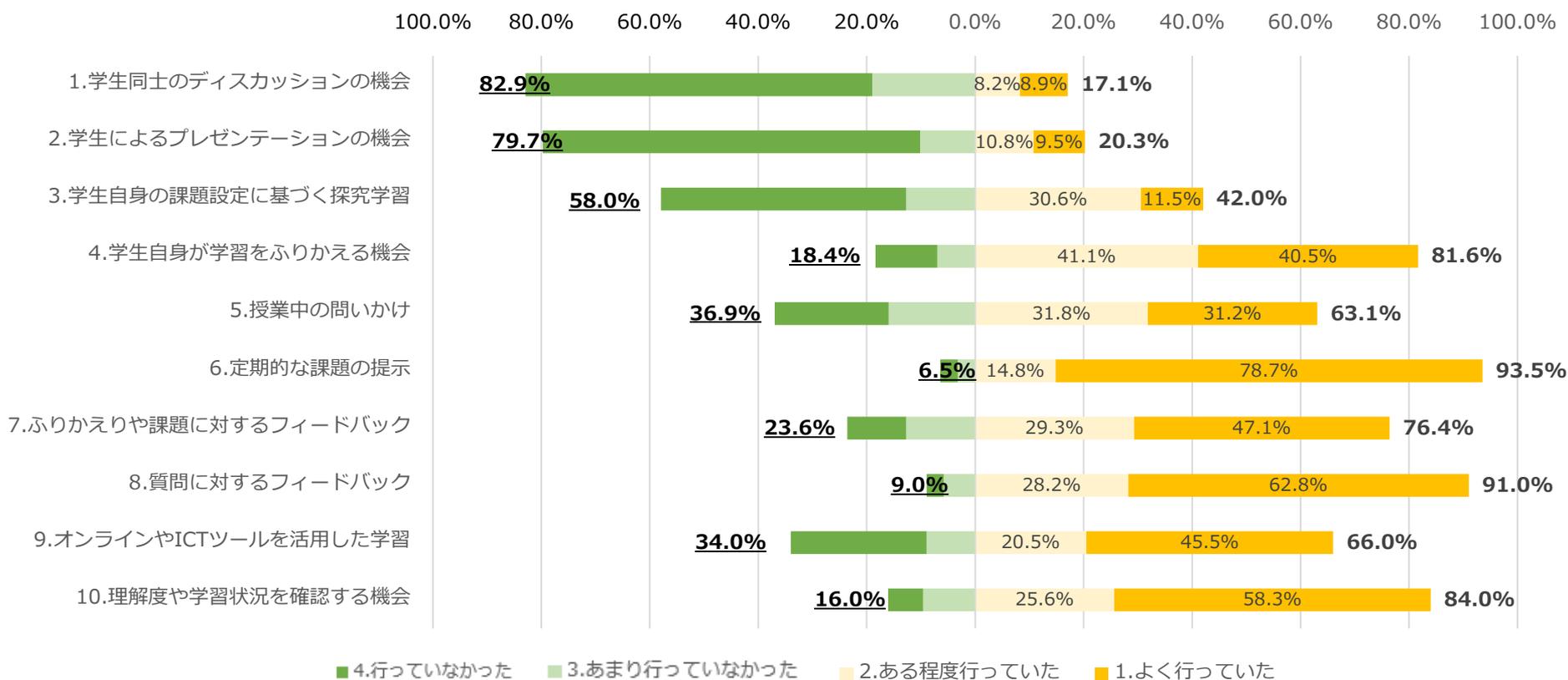
太字は「1. よくなった」「2. 変化なし」の合計

遠隔授業における活動の頻度

- 「6.定期的な課題の提示」「8.質問に対するフィードバック」は9割超となったが、「1.学生同士のディスカッション」「2.学生によるプレゼンテーションの機会」は2割弱となり、項目による差異がある

Q6 2022年度春学期に担当した遠隔授業（オンデマンド配信型）において、以下にあげる項目をどの程度実施されましたか。

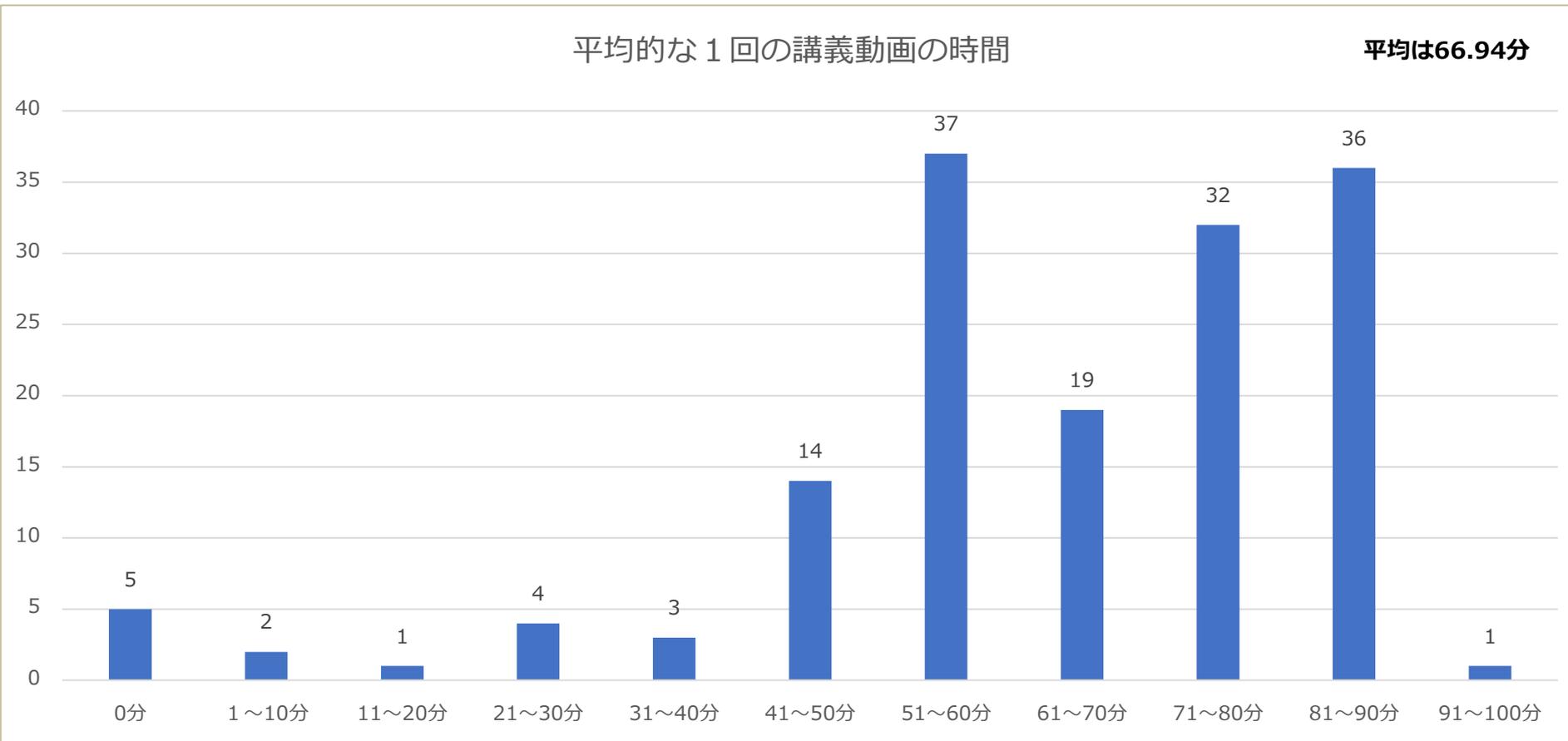
遠隔授業における活動の頻度



太字は「1. よく行っていた」「2. ある程度行っていた」の合計
 太字は「3. あまり行っていなかった」「4. 行っていなかった」の合計

- 回答者の平均時間は、66.94分となった
- 最頻値は、51～60分となり、次いで、81～90分、71～80分となり、1回あたり約60分以上の動画による講義が多くなった

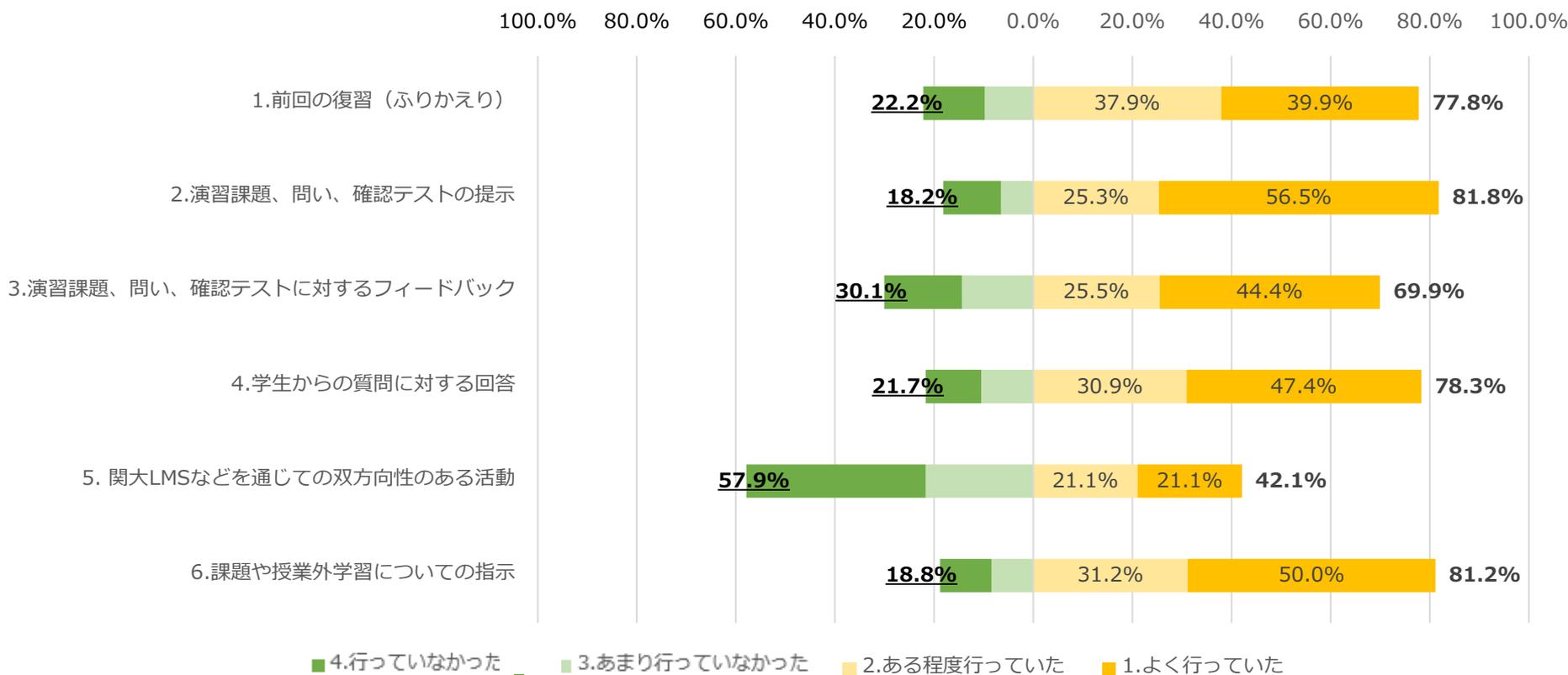
Q7 2022年度春学期に担当した遠隔授業（オンデマンド配信型）において、平均的な1回の講義動画の時間（複数の動画を組み合わせた構成の場合は合計）は何分程度でしたか。



- 「5.関大LMSなどを通じて双方向性ある活動」を除き、いずれの項目において「1.よく行っていた」「2.ある程度行っていた」の割合は約7割超となった

Q8 Q7で回答した講義動画について、以下の取組をどの程度行っていましたか。

講義動画における取組内容



太字は「1. よく行っていた」「2. ある程度行っていた」の合計
太字は「3. あまり行っていなかった」「4. 行っていなかった」の合計

Ⅲ 自由記述による回答について



- 106件の回答があった（主に関大LMSをもとにした工夫が目立った）
 - ✓ ペンタブレットを用いた、ライブ感のある配信動画
 - ✓ 学生と対面で接することができないので、フィードバックに力を入れている。毎週の動画提出やライティングなどのアウトプット活動の課題に細かくフィードバックをしているので、対面授業よりは細やかな対応ができた
 - ✓ オンデマンド授業動画については、YOUTUBEなどを参考に、テロップと音をつけて、重要なところを表示した
 - ✓ 授業動画を一時停止し、教科書の指定範囲を読む時間を設けたり、教科書には載せていない内容を動画で補足説明したりすることで、活動に変化を加えようとしている
 - ✓ 任意回答としている授業の振り返りや質問と、それに対する教員からのコメントをワードにまとめ、翌週の授業で公開している
 - ✓ 毎回小テストに相当する質問を課し、答えを関大LMSでアップロードしてもらった。時には、自分の考えを問うたり、自由な記述を求めたりした。自由記述での疑問に対して授業でコメントを返したりして、双方向性を高めるようにしていた



- 108件の回答があった（現在、詳細を分析中のため、以下主な意見を抜粋）
 - ✓ 課題の管理は楽になった
 - ✓ ゲストスピーカーなど、柔軟に授業が行えた
 - ✓ 大人数の授業よりも、全般的に授業に対する取り組み意欲は向上したと感じる
 - ✓ 電車通勤、教室移動などのせわしさがなかったため、その分じっくりと授業に取り組むことができる
 - ✓ 学生の反応がわからない
 - ✓ 直前に見る学生、見ない学生
 - ✓ 見た見てないにより理解度に差が生じる
 - ✓ オンデマンド授業で双方向性の確保は難しい
 - ✓ 学生同士の意見交換や交流の機会が難しい
 - ✓ 掲示板を設定したが、利用者はほとんどなかった
 - ✓ フィードバックに時間はかかるが、学生のモチベーションを上げるには効果的

